



校長室便り

南の風を感じて

倉敷市立琴浦南小学校
平成29年10月13日
No.13

読書の秋！ 校内読書週間！

10月16日から10月25日までの期間は、校内読書週間です。「読書の楽しさを知り、本に親しもうとする心情を養う」ことを目的として実施します。図書委員会の子どもたちや司書の岡田先生を中心に、3冊貸出、読書郵便、しおりコンテスト、読書クイズなど様々な活動に取り組みます。この機会に子どもたちが、1冊でも多く素敵なお本に出会ってほしいと願っています。

読書の効用については、いろいろとされていますが、3つ紹介します。

- ① 学力につながる深い言語能力を高めることができる。
- ② 映像によるものより、想像力をより一層高めることができる。
- ③ 情報化社会の中で、自分に必要なものを選択する能力を養うことができる。

他にも、よい点がたくさんあると思いますが、読書を通して、子どもたちは様々な力を伸ばすことができると考えています。

また、子どもを読書好きにするためには、いろいろな方法があると思います。例えば、子どもが小さいときから、しっかり読み聞かせをしたり、「お母さん、お父さんは、今この本を読んでいるよ。とっても楽しいよ。」などと語りかけをしたりしながら、読書が楽しいものであるという雰囲気を醸し出してやることも大切ではないかと思えます。ご家庭でも、この読書週間の期間中、読書に関する話題で子どもたちと語り合いをもっといただければ幸いです。



『つづきの図書館』 椎葉幸子 作 ポプラ社 2010年
「青田早苗ちゃんの続きが知りたいんじや。」自分のお話の本を借りてくれた女の子に会いたくて、本から出てきたのは、裸の王様。無事、早苗ちゃんに会えるでしょうか。

『若冲一象と出会った少年』 黒田志保子 作 国土社 2017年

享保13年、中国から「ぞう」が日本にやってきました。幼いころから絵が好きだった忠兵衛は、「ぞう」を自分の目で見たくてたまらなくなり、言いつけを放り出して家を飛び出します。そして、「ぞう」を目に焼き付けたまま家に戻り、墨をすって描きはじめます。絵師・伊藤若冲の少年時代のお話です。



司書の岡田先生に聞きました。

**この秋
おすすめの本は**



基礎・基本の定着をめざして

2学期になり、様々な学校行事の中で、子どもたちが活躍している場面を多く見ることができ、とてもうれしく思っています。と同時に、この2学期は、学習にも取り組みやすい時期です。今が学力を伸ばすチャンスです。

学校では、基礎・基本の確実な定着をめざし、授業研究を深めることで、分かりやすい授業づくりを進めたり、朝学習の充実に努めたりしています。

この度、初めての試みで、3年生から6年生を対象に、「2年生ばっちり検定」を実施します。2年生の算数で学習した内容のテストを、3年生から6年生までが、一斉に取り組み、定着の度合いを確かめるというものです。

子どもたち一人一人が、学力向上に向けて、自分の課題を把握し、日々努力を重ねてほしいと願っています。ご家庭でも、ご協力をよろしくお願ひいたします。

